

SupraSperm®

(密度勾配遠心分離用メディウム)



SupraSperm® (スープラスパーク) は、密度勾配遠心による運動精子の選別用メディウムです。本製品は、共有結合した親水性シランで安定化したシリカ粒子を含有するコロイド懸濁液で、運動精子の回収に高い評価を得ています。SupraSperm® 90 は単層法、SupraSperm® System は2層法、SupraSperm® 100 は目的の濃度に希釈してお使い頂ける密度勾配遠心分離用メディウムです。

製品名	が知り No.	容量	フェノールレッド	有効期限	抗生物質	保存温度
SupraSperm® 90	1091 0060	60 ml	+	8週間	+	2~8°C
SupraSperm® System	1092 2060	60 ml × 2	+	8週間	+	2~8°C
SupraSperm® 100	1097 0060	60 ml	—	52週間	—	2~8°C

培地組成

SupraSperm® 90 90% Salt solution of colloidal silica particles coated with silane
10% Sperm Preparation Medium

SupraSperm® System 80% gradient : 80% Salt solution of colloidal silica particles coated with silane
20% Sperm Preparation Medium
55% gradient : 55% Salt solution of colloidal silica particles coated with silane
45% Sperm Preparation Medium

SupraSperm® 100 100% Salt solution of colloidal silica particles coated with silane

品質管理項目

無菌テスト済み (Ph. Eur., USP)
pHテスト済み (Ph. Eur., USP)
浸透圧テスト済み (Ph. Eur., USP)
エンドトキシンテスト済み : ≤1.0 EU/ml (Ph. Eur., USP)
精子サバイバーテスト済み

試験成績

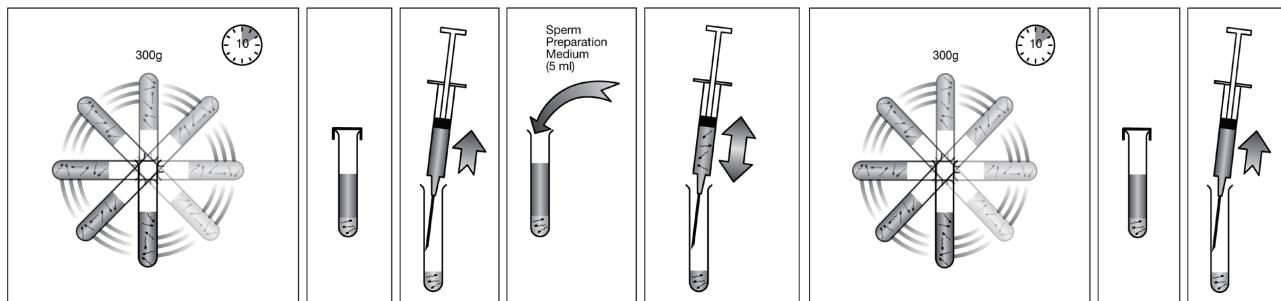
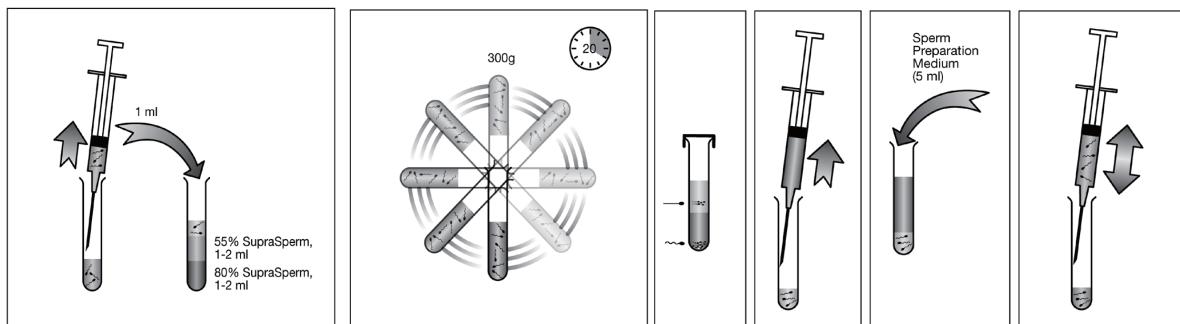
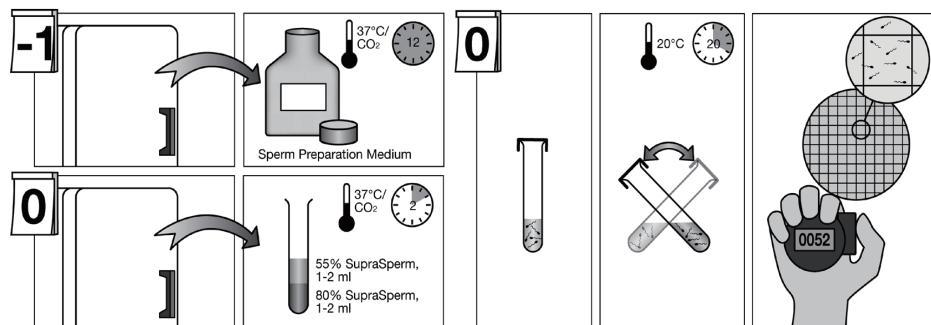
本製品に関する参考文献は、以下URLをご参照ください。
<http://www.origioref.com/reference.php?ref=31>

使用上の注意

- 1) 遮光にて2~8°Cで保管し、凍らせないで下さい。
- 2) 開封後は7日間以内にご使用下さい。
- 3) 商品包装が破損している場合、および有効期限を過ぎた場合は使用しないで下さい。

プロトコール

- 1) 1~2 mlの80% SupraSperm® の上部に1~2 mlの55% SupraSperm® を重層させ、密度勾配層を作り、37°C、CO₂ 下で少なくとも2時間の平衡化を行って下さい。
※密度勾配層は、良好な成績を得るために、使用する直前に準備することをお薦めします。
- ※本製品をインキュベーター外で使用する場合、pHが安定した状態で、15分間ご使用いただけます。また、密閉した状態では、1時間ご使用いただけます。
- 2) 精液サンプルを充分に攪拌します(室温で20分間、チューブを傾けるように振る)。もしサンプルが液化しない場合は、細いピペットでピペッティングするか、もしくは少量のSperm Preparation Mediumと混合します。
- 3) 混合させた後、精子濃度および運動性を測定します。
- 4) あらかじめ準備しておいた密度勾配層の上部に、1 mlの液化した精液を慎重に重層させます。
※過剰に精液を重層すると、分離が不十分となってしまうので注意して下さい。
- 5) 300 × gで20分間遠心を行います。
- 6) チューブ内に残留物が残らないよう注意しながら、ペレットから上清を除去します。その精子ペレットを新しいチューブに移します。
- 7) 5 mlのSperm Preparation Medium を加えて再懸濁させ、再び300 × gで10分間遠心します。その後、上清を吸引します。
※この洗浄工程を2回繰り返します。
- 8) 少量のSperm Preparation Medium を加え、洗浄したサンプルの精子濃度および運動性を測定します。
- 9) 最後に、適量のSperm Preparation Medium を用いて洗浄精子を再懸濁します。運動精子の最終濃度が100,000/mlにてc-IVFを行った場合でも、通常、受精を確認することができます。
※一般的に、チューブを密閉した場合、媒精開始の1時間以内ならば、精子サンプルを室温(20~25°C)で保存することができます。
そして、精子サンプルはアルミホイルでラッピングする事を推奨します。あるいは、インキュベータ内であれば、蓋をしていない精子サンプルでも保管することができます。



本製品は薬事法の定めるところの「医薬品」「医薬部外品」ではありません。

また、ヒト、動物の診断あるいは治療用として用いるものではありません。